

2013年3月期事業報告書

2012年4月1日から2013年3月31日まで

I. はじめに

2012年度は経済環境の変化にも対応しつつ、公益財団法人としての独立性、中立性をもった適正な事業の運営に努め、下記の具体的な事業に継続性を持って、取り組んできた。

II. 事業の概要

1. 顕彰事業

(1) 2012年度(第21回)大川賞

- 大川賞審査委員会 2012年10月19日(金)開催
- 受賞者

コンピュータによる音声言語処理に貢献があった

東京工業大学 名誉教授

古井 貞熙 博士

マサチューセッツ工科大学 Delta Electronics 首席教授

ヴィクター ズー 博士

(2) 2012年度(第21回)大川出版賞

- 大川出版賞審査委員会(1)
2012年7月31日(火)開催
2012年10月2日(火)開催
- 受賞図書

『ITが守る、ITを守る—天災・人災と情報技術』

東京大学 大学院 情報理工学系研究科 教授 坂井 修一 著/NHK出版 刊

『インターネットに自由はあるか—米国ICT政策からの警鐘』

前 在米国日本大使館 参事官 藤野 克 著/中央経済社 刊

2. 大川賞・大川出版賞・研究助成贈呈式

2013年3月、大川賞・大川出版賞と国内研究助成、中国・韓国研究助成の贈呈式を併せて行った。なお、これを記念しての講演会を同時開催した。

日時:2013年3月6日(水)15:00~18:30

15:00~16:00 記念講演会

演題:「蘇る日本への道」

講師:中西 輝政 氏(京都大学 名誉教授)

16:00~17:45 贈呈式

17:45~18:30 懇親会

場所:ANA インターコンチネンタルホテル東京 東京都港区赤坂 1-12-33

3. 2012年度大川賞受賞記念シンポジウムの共催

東京工業大学主催及び当財団の共催により「2012年度大川賞受賞記念シンポジウム」を開催した。

日時:2013年3月7日(木)13:30~19:30

場所:東京工業大学 大岡山キャンパス 蔵前会館 くらまえホール

内容:

13:30 開会

13:35 主催者挨拶

東京工業大学 前学長 名誉教授 伊賀 健一

13:40 大川財団と大川賞の紹介

大川賞審査委員長 坂内 正夫

13:50 招待講演

“Multimodal Processing in Speech-based Interactions”

香港中文大学 学科長・教授 ヘレン・メン博士

15:10 大川賞受賞記念講演

”Speech-based Interfaces: Yesterday, Today, and Tomorrow“

マサチューセッツ工科大学 Delta Electronics 首席教授

ヴィクター・ズー博士

16:30 大川賞受賞記念講演

“Data-intensive ASR Based on Machine Learning”

東京工業大学 名誉教授 特任教授 古井 貞熙博士

18:00 祝賀会

4. 研究助成事業

(1)2012 年度(第 26 回)国内研究助成

- 研究助成選考委員会(1)(計2回)
2012 年 7 月 25 日(水)開催
2012 年 10 月 12 日(金)開催

(2)2012 年度(第 17 回)米国研究助成

- 海外研究助成選考委員会
2012 年 10 月 1 日(月)開催
- 米国研究助成贈呈式
日時:2013 年 1 月 21 日(月)18:30~22:00
場所:ホテル ニッコー サンフランシスコ

(3)2012 年度(第 6 回)中国・韓国研究助成

- 海外研究助成選考委員会
2012 年 10 月 1 日(月)開催

(4)中国・韓国研究助成歓迎レセプション

贈呈式の前日の 3 月 5 日(火)に中国・韓国の研究助成対象者及びその推薦者(各大学の学部長クラス)を招き、歓迎会が行われた。

- 日時:2013 年 3 月 5 日(火)19:00~21:00
場所:ANA インターコンチネンタルホテル東京 37F「アリエス」
東京都港区赤坂 1-12-33

(5)その他の協賛活動等

- 情報通信月間への協賛を行った。

5. 関西文化学術研究都市における大川センターについて

京都府の関西文化学術研究都市内に設置した「大川センター」では、SCSK グループの行う社会貢献活動である CAMP (Children's Art Museum and Park) が継続的に開催されている。CAMP では、米国マサチューセッツ工科大学をはじめとする国内外の大学、研究機関とも連携しながら、地元の小中学生を中心とした情報通信やコミュニケーションに関する創作ワークショップの提供を通じて、同分野の啓発を図ると共に、教育、文化の向上に努めている。また、利用を希望する大学、教育・研究機関や地域の団体等にも施設を無償で開放しており、シンポジウムや国際会議、教育活動等に幅広く活用されている。

6. 広報活動

- (1) 研究助成の成果概要の公開について
- (2) 年次報告書の発行
- (3) インターネット・ホームページの充実
- (4) テレビ・新聞・雑誌等へのパブリシティの強化

7. 庶務に関する事項(略)

- (1) 理事会の開催 …年5回開催(書面決議を含む)
- (2) 評議員会の開催 …年2回開催(“)
- (3) 役員、委員の改選
- (4) 主たる事務所の変更 …東京都千代田区平河町一丁目8番2号 山京半蔵門パレス

正味財産増減計算書

2012年4月1日から2013年3月31日まで

(単位:円)

科 目	2013年3月期
I 一般正味財産増減の部	
1. 経常増減の部	
(1) 経常収益	
① 基本財産運用益	45,690,790
② 受取寄付金	0
③ 雑収益	416,339
経常収益計	46,107,129
(2) 経常費用	
① 事業費	117,692,143
② 管理費	25,693,595
経常費用計	143,385,738
当期経常増減額	△ 97,278,609
2. 経常外増減の部	
(1) 経常外収益	
① 特定資産受贈益	16,245,572
経常外収益計	16,245,572
(2) 経常外費用	
① 固定資産除却損	116,257
経常外費用計	116,257
当期経常外増減額	16,129,315
当期一般正味財産増減額	△ 81,149,294
一般正味財産期首残高	531,292,874
一般正味財産期末残高	450,143,580
II 指定正味財産増減の部	
一般正味財産への振替額	△ 16,245,572
当期指定正味財産増減額	△ 16,245,572
指定正味財産期首残高	4,897,768,768
指定正味財産期末残高	4,881,523,196
III 正味財産期末残高	5,331,666,776